【大分県】

令和6年災 国道386号（三郎丸橋（さぶろうまるばし））災害関連事業

【概　要】

令和6年7月の梅雨前線豪雨により、三郎丸橋の橋脚付近の河床が洗堀され、橋脚が沈下、傾斜し、その影響により上部工も被災した。

災害関連事業により、橋長を延伸し、河川管理施設等構造令の基準に満足した橋梁に架替することで、再度災害防止を図るものである。

【事業内容】

事業主体：大分県

路 線 名：国道386号

事業箇所：日田市大字南友田（ひたしおおあざみなみともだ）

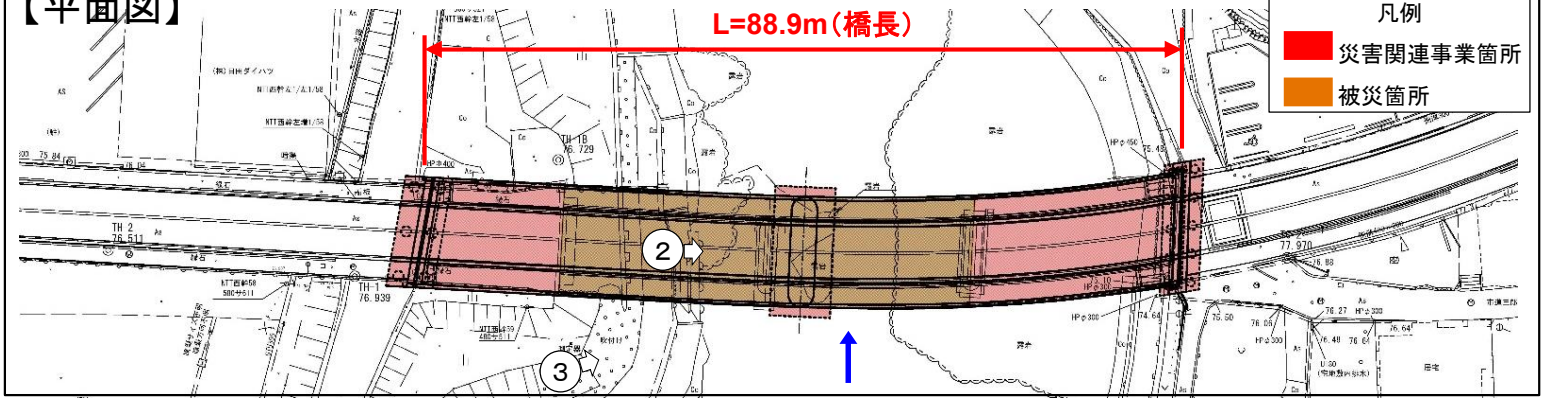
事業延長：88．9m

事業期間：令和6年度 ～ 令和8年度（予定）

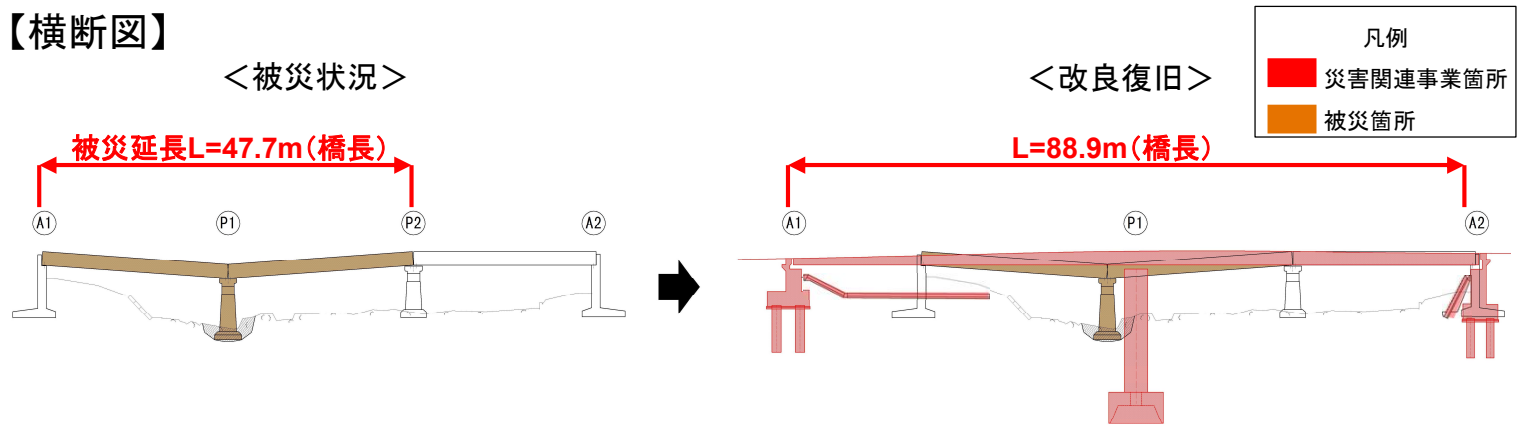
事　業　費：約19．3億円
（うち改良費 約8．2億円）

事業概要：橋梁工、護岸工　等

【平面図】

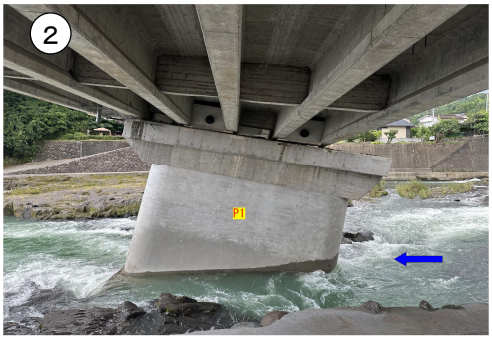


【横断図】



【被災状況写真】

▲出水の状況（全景）



▲ P1橋脚の被災状況

▲橋梁の被災状況